

## 200927 静岡県西部 M5.3 について

昨日 9 月 27 日 13 時過ぎに静岡県西部で M5.3 の地震が発生しました。

この地震に関して、9 月 25 日に三浦半島の異臭さわぎの続きについてを載せたときに逆ラジオの電磁波データで 360 日（日毎）データをみたら “大地震の前兆と考えられるデータは 関東より中部、東海が多い” と書きました。以下が 9 月 25 日現在の中部東海地区、及び世田谷のデータですが主に中部、東海の異常が多くなっています。

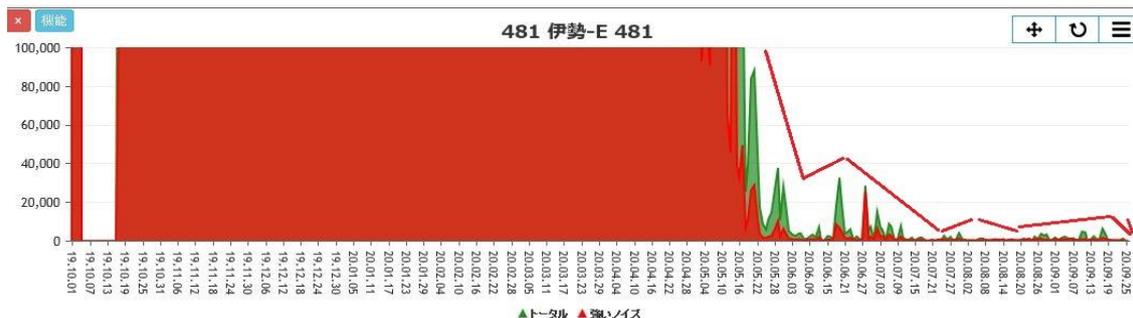
9 月 25 日現在 安曇野 360 日（日毎）データ



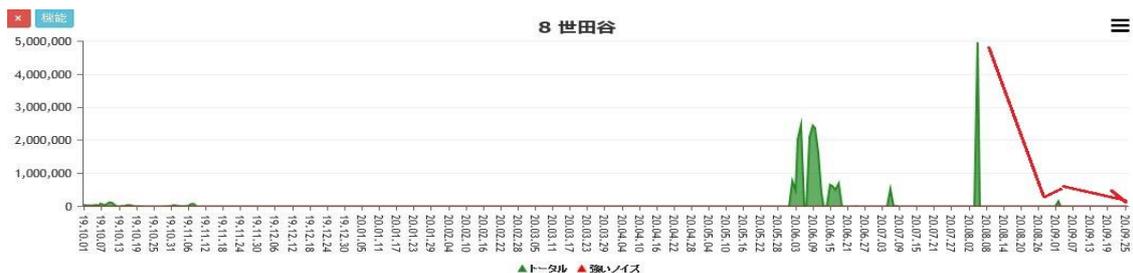
9 月 25 日現在 白馬 360 日（日毎）データ



9 月 25 日現在 伊勢 E481 360 日（日毎）データ



9 月 25 日現在 世田谷 360 日（日毎）データ

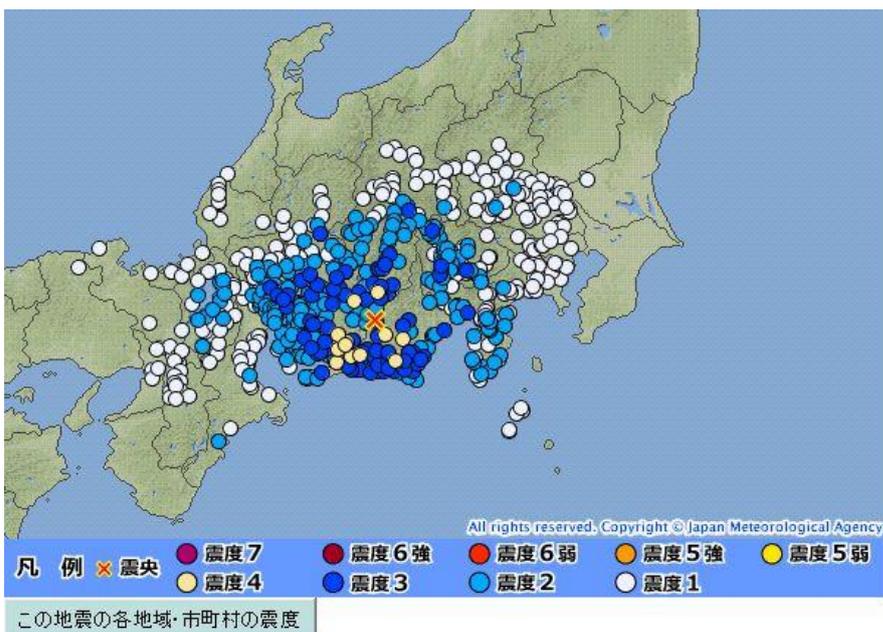


### <位置関係>



三浦半島の4回の異臭発生と、関東、中部、東海に大型のデータが出ていることからここしばらくは関東、中部、東海のデータの推移を注視したいと思います。

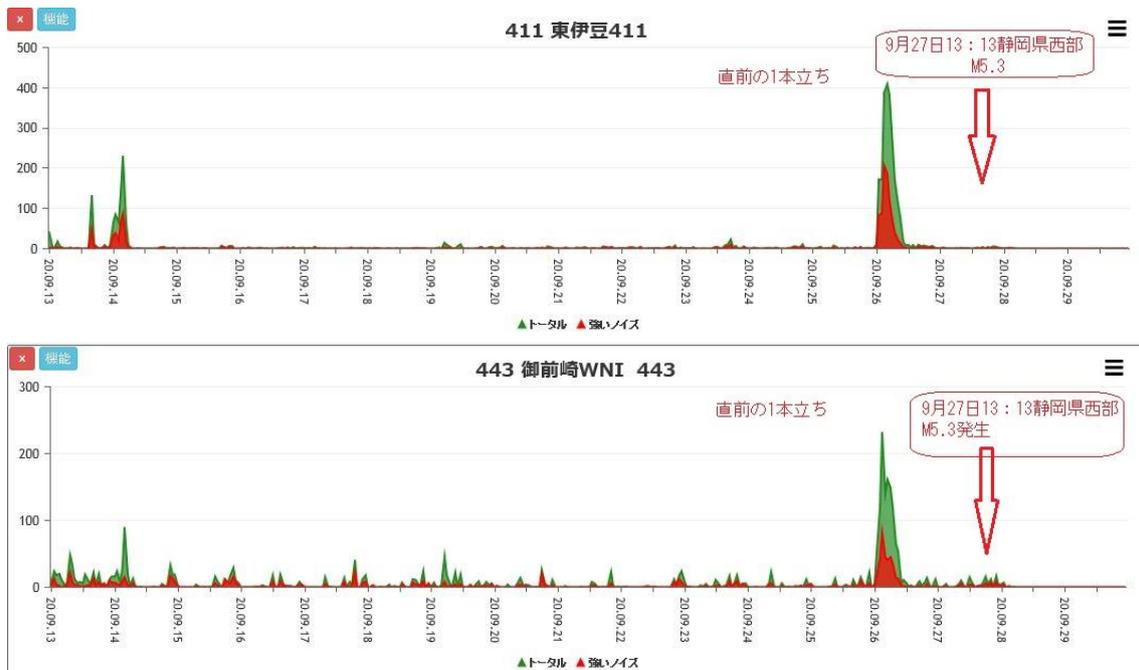
### 地震発生>200927 静岡県西部 M5.3



各地の震度に関する情報  
令和 2年 9月27日13時18分 気象庁発表

27日13時13分ころ、地震がありました。  
震源地は、静岡県西部（北緯35.1度、東経137.8度）で、震源の深さは約50km、地震の規模（マグニチュード）は5.3と推定されます。

なお、地震発生の前日、震源に近い、東伊豆と御前崎の2観測点に直前の1本立ちのデータが出ています。



<地震発生の直前データについて>

このように地震発生の直前（前日）に同期したきれいなデータが出ることはときどきありめずらしいことでは無いですが 一方で長期につづく大きなデータを捉えていて、それが減衰してきた場合、他方でもしこのような直前の前兆データがとらえられて それを見逃さなければ 地震予知の精度がさらに上がると考えられます。